

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	PONY		
○保護者評価実施期間	2025年01月01日		～ 2025年02月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年01月01日		～ 2025年02月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年03月01日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アニマルセラピーという県内唯一のサービスを提供していること。 いきなり対人のコミュニケーションの訓練だと、抵抗や恐怖感がある児童については動物とのコミュニケーションや信頼関係の構築などを通して成功体験を積むことができる。	馬は非日常な動物のため、最初は怖がる児童も多い。日常的な動物として感じることができる、犬や猫も飼育しているため児童にあった療育プログラムを柔軟に選択できる。	外部講師を定期的に招聘し、スタッフの育成に注力 現場スタッフによるプログラムの改善や新規提案等を検討・実行しやすい制度設計を行う
2	施設の広さ 整備されたグラウンドでのアクティビティを伸び伸びで きる	屋外アクティビティを充実させるための備品購入や施設 改修工事	天候に左右されない、環境整備のためスポットクーラー の設置や馬場への開閉式屋根の設置などを検討中
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々変化する児童や保護者からの困り感やニーズを キャッチアップして柔軟に療育方針を変更する	一部保護者については、LINEやHUGなどの連絡ツ ールでのコミュニケーションが連絡に留まっている。	コミュニケーションツールの有効活用について、スタッフ 研修を実施 また、来所時に保護者との接点を積極的に持ち、コミュ ニケーションを円滑にする。
2	家族支援プログラムについて、十分に満足いただけてい ない	昨年は、体制変更や馬の状態の影響から、家族参加のイ ベントを実施していなかった。	長期休みや祝日などの保護者が気軽に参加できるタイ ミングで、家族乗馬や保護者の曳き馬体験などのイベン トを開催する
3	保護者間の交流 地域の他の子どもとの交流	■保護者間の交流について 昨年は、体制変更や馬の状態の影響から、家族参加のイ ベントを実施していなかった。 ■地域の他の子どもとの交流について 利用児童の療育提供時間を避けて、地域の保育園や学 童などとの交流は行っていた。 利用児童との交流については、現時点はニーズがなかっ たことと、安全性を鑑みて、積極的に実施する必要はな いと判断した。	■保護者間の交流について 長期休みや祝日などの保護者が気軽に参加できるタイ ミングで、家族乗馬や保護者の曳き馬体験などのイベン トを開催する ■地域の他の子どもとの交流について 強いニーズがあれば実施を検討する